

本 会 記 事

1 昭和44年度総会ならびに研究発表会

四国植物防疫研究協議会昭和44年度総会ならびに研究発表会は、11月19～20日、高知県文京会館（高知市）において開催され、約80名が出席しました。

(1) 総 会

11月19日午後1時から総会が開かれました。昭和43年度会務報告が承認された後、議題として、通常会員会費の500円への値上げを含む規約改正、昭和44年度事業計画ならびに予算が上程され、原案どおり承認されました。

(2) 研究発表

11月20日午前9時から午後2時まで、次の9題の研究発表がおこなわれました。

須藤真平・日和田太郎*・永井洋三：イネツトムシの発生と薬剤防除

井上孝*・桐谷圭治：昭和44年度における水稲病害虫防除改善圃場の総括 - 燐および塩素系殺虫剤による害虫防除とその問題点

上原等*・都崎芳久：イネ稿葉枯病の発生予察に関する研究 第1報 コムギ上のヒメトビウンカ第1世代幼虫の生息数とイネの発病との関係

斉藤正・山本磐*：ハウス野菜の2、3の地上部病害に対する土壌施薬の効果

尾崎幸三郎*・葛西辰雄：ツマグロヨコバイとヒメトビウンカに対する薬剤の接触毒性と圃場における効果との関係

川原幸夫：粒剤の食物連鎖を通過しての捕食性天敵への影響

重松喜昭：トマトのモザイク病の防除に関する研究 第4報 カンレイシャの質とCMVの防除効果

木谷清美・木曾皓*・重松喜昭：愛媛県松山市余戸に発生したキュウリのウイルス病について

斉藤三雄：キタジンP粒剤の水面施用について

(*は演者)

(3) 協 議

11月19日午後2時から、野菜病害虫の発生概況と防除の問題点(高知農林技研 斉藤氏話題提供)、防除機具の現状と今後の問題点(共立販売 平松氏話題提供)、各県提出議題について討議がおこなわれました。

2 明年度総会

昭和45年度の本会総会は、明年秋、愛媛県において開催される予定です。

訂正：「四国植物防疫研究」第4号33ページの表題下著者名のうち、つぎの誤植がありましたので、訂正します。

(誤) 笹葉隆文 → (正) 笹波隆文

著者にご迷惑をおかけしたことを深くお詫びします。なお、表紙目次には誤りありません。